事前ワークシート　　富士見市の地域学校協働活動において、大切にしたいこと、外せないポイント、特に力を入れたいこと、富士見市の特色にしたいこと

分類：本部・組織

No.	分類	大切にしたい・特に力を入れたい・特色にしたいこと	それを大切にしたい・力を入れたい・特色にしたい理由	氏名
1	本部・組織	「本部」の組織化	本部を組織化する場合、市内の団体、行政組織、事業者とCoをつなげること、およびCoへの支援が本部のメインの役割となるため。その役割を担うための体制づくりと仕組みづくりが大切。	[redacted]
2	本部・組織	【大切にしたいこと】 学校・家庭・地域が一体となるための横断的な位置づけで、市内全体を俯瞰／状況把握できる本部組織を設置すること。 （市に一つ設置するイメージ。しかし、初めから市内全体を対象とせずに、「小さく産んで大きく育てるもの（どこか一か所で活動を始めることとするも、あらかじめ市内全体を対象とすることを前提として、徐々にヨコに広げていく具合）」とする方がよいのではないか）	●学校単位や地域別で本部を設置したがために、関係者の力量や熱意などに起因して活動の質や充実度に差異が生じないようにすべきと考えるため。 ●本部が、活動の標準化や質の保証、人材の循環、情報共有などを担うとすれば、市に一つ、の方がやりやすいのではないかと考えるため。 ●教育振興基本計画の「学校・家庭・地域が一体となった教育の推進」にも合致し、活動の安定性と持続可能性の観点から評価しやすいのではないかと考えるため。	[redacted]
3	本部・組織	個々のコーディネーターは学校に配置するが、市レベルの地域学校協働本部を設置し、公民館＋α単位で支部を設置して、活動を推進する	各学校のニーズや困りごとをしっかりくみ取ることも大切、それらに沿った活動も必要だが、一方で、各学校がバラバラに活動するのではなく、市として統一の方針に沿って活動すること、各地域の特性に合った活動をすることも重要なため、それら双方を両立することのできる組織体にするため。	[redacted]
4	本部・組織	コミュニティ・スクール協議会と地域学校協働本部が連携できる組織であること	本部の設置（相談、案内、支持等） 本部の下に支部として、公民館等の活用	[redacted]
5	本部・組織	公民館単位での地域コーディネーターの設置と、各校コーディネーターが情報を共有する場や機会の設置	地域は学校単位でのつながりだけではないため、地域の特色や状況を踏まえた公民館単位でのコーディネーターの存在がキーになると考える。また、公民館での活動グループを活かす機会にもなると考えるため。	[redacted]

事前ワークシート　　富士見市の地域学校協働活動において、大切にしたいこと、外せないポイント、特に力を入れたいこと、富士見市の特色にしたいこと

分類：地域資源の活用

No.	分類	大切にしたい・特に力を入れたい・特色にしたいこと	それを大切にしたい・力を入れたい・特色にしたい理由	氏名
1	地域資源の活用	公民館、その他地域活動、地域団体の活動など、既にある社会教育の基盤をうまく活用する	地域学校協働活動のあるべき姿は、新規に何かを始めるのはなく、既にある地域の社会教育資源を学校教育にも活かしていく、子どもたちの学びや成長に生かしていくというものだと思うから。 学校・子どもという分かりやすく、相互連携しやすい目的・旗印のもとに地域の社会教育資源が、これまで以上に力を発揮することができ、協働関係も強化されると思うから。	[redacted]
2	地域資源の活用	地域に住むだれもが学校に通う子どもたちのために、どんなことでも良いから協力したいと思うような雰囲気作り。	県内最後発で促されてコミュニティスクールを導入するというのではなく、今まで進めてきたことをさらに充実させるという位置付けが大事。	[redacted]
3	地域資源の活用	既存の団体との連携強化	CSの活性化のため。学校や教育委員会と今まで関わりの薄かった団体に、CS（教育活動）に参画してもらうことで、活性化を図りたい	[redacted]
4	地域資源の活用	子どもたちが、一層大人たちと交流し、自分たちの住む街の歴史・文化を学ぶ郷土学習の機会を増やす。	子どものうちから郷土へ目を向けることで、愛着が生まれ、その効果は長く続くと考えられる。また、大人たちも、子どもに伝える（教える）ということを前提に郷土について学ぶことで、より深い学びにつながるという派生的な効果も期待できる。教育振興計画のめざす民像、ならびにこども計画の理念とも一致することも理由である。	[redacted]
5	地域資源の活用	地域住民と学校の交流、合同イベントの実施 （手話の習得、富士見音頭、小学校か中学校の卒業式の歌を「青春賦」にする）	富士見市の特色や伝統継承を活かした活動	[redacted]
6	地域資源の活用	生涯にわたり、学ぶ機会を発進する	資源の有効活用（人、経済、地域、歴史等）により、幅広く学ぶことができる	[redacted]
7	地域資源の活用	【大切にしたいこと】 市内の社会教育資源（公民館・地域団体・文化活動）を重要なリソースとして戦略的に活用すること	●生涯学習推進基本計画が掲げる「自由な学びにより生きがいができるまち」は、学校教育と社会教育の接続あってこそ。	[redacted]
8	地域資源の活用	公民館（コミュニティセンター）、図書館、資料館といった社会教育資源の活用	他市の社会教育関係者から、富士見市は社会教育に特徴があると認知されている。富士見市のCSにおいて富士見市の社会教育資源をどのように活用すべきかは議論して然るべき。	[redacted]

事前ワークシート　　富士見市の地域学校協働活動において、大切にしたいこと、外せないポイント、特に力を入れたいこと、富士見市の特色にしたいこと

分類：地域との関わり

No.	分類	大切にしたい・特に力を入れたい・特色にしたいこと	それを大切にしたい・力を入れたい・特色にしたい理由	氏名
1	地域との関わり	学校教育に地域の人材が関わるだけでなく、地域活動に学校や生徒が関わることにより、双方向性の活動をバランス良く行う	学校教育を地域が「手伝う」だけでは活動に偏りがある。逆ベクトルの活動もしっかり活かしていくことを考えていきたい。	[redacted]
2	地域との関わり	地域に貢献し、地域との絆を深めることにより、地域を活性化する原動力	町会活動、ボランティア活動、地域の祭り等への参加、協力は幅広い年齢層とのかかわりにつながり、地域の活性化となる（少子高齢化社会）	[redacted]
3	地域との関わり	【特色にしたいこと】 児童生徒が「地域に関与・貢献する機会」を得やすいこと	●教育振興基本計画の「学びの成果を生かして、自ら社会に参加し、郷土の未来を拓く人」という市民像に直結する。 ●地域学校協働活動を「地域が学校を支援する」だけでなく、児童生徒が地域に参加する双方向モデルにすることで、地域に好循環が商事、取り組みの持続可能性が高まるのではないか。	[redacted]
4	地域との関わり	児童生徒が地域に支えられているだけでなく自分たちも地域の一員であるという所属感や地域愛を醸成でき、地域が子供たちの力を活かして更に活性化するWin-Winの関係づくり	地域の方が学校に入るだけでなく、子供の力を地域で活かして活性化を試みる意識を高めていけば、互いによい関係となると考える。学校からの要請に応じる、という形から、地域が子供の力をどこで活用したいかを考え、相互に要請し合う関係をつくりたいと考えるため。	[redacted]
5	地域との関わり	【大切にしたいこと】 学校中心ではなく、地域中心の協働構造をつくること。	●学校を中心とした場合、学校と関わりのある人が中心になることで図らずも「関われない層」を生み出してしまう懸念があると考えるため。 ●教育振興基本計画が掲げる「学びあいから交流の輪を広げ、地域の絆をはぐくむ人」像は、地域社会を主体とした学びからの広がりを期するものと捉えたため。	[redacted]
6	地域との関わり	「地域とともにある学校」から「地域の中にある」学校へ	開かれた学校づくりが校長の使命となっている。学校を主に地域との関係を考えるだけでなく、地域の中の一組織として輪に入り、地域のことを共に考える存在として協働することが理想と考えるため。	[redacted]
7	地域との関わり	地域住民と学校の交流、合同イベントの実施 （合同防犯、防災訓練）	犯罪、災害時に地域で協力できる状況をつくる	[redacted]
8	地域との関わり	地域に愛着をもち、次世代につなぐ力	地域の良さを知ることにより、大人になっても地域で生活し、次世代の若者に伝承できる力を身につける	[redacted]

事前ワークシート　　富士見市の地域学校協働活動において、大切にしたいこと、外せないポイント、特に力を入れたいこと、富士見市の特色にしたいこと

分類：産官学連携

No.	分類	大切にしたい・特に力を入れたい・特色にしたいこと	それを大切にしたい・力を入れたい・特色にしたい理由	氏名
1	産官学連携（企業）	従来からの地域団体だけでなく、企業やビジネスパーソンも参画した活動にする	地域にも学校にもこれまであまりなかったであろうビジネス視点が入ることは良い刺激になり、新たなことが生まれるきっかけになるはず。保護者も保護者として学校に関わるだけでなく、一人のビジネスパーソンとして関われば、学校にも地域にも良い影響があるはず。本人にとっても地域や学校に関わることは良い影響を与えるはず。	[redacted]
2	産官学連携（企業）	市内の事業者との連携	CSの活性化のため。市内のいくつかの企業は、市内の学校の生徒を招いて、企業の見学や体験などの取り組みを行っている。取り組みを行っていない企業に、商工会などを通じて働きかけたい。	[redacted]
3	産官学連携（企業）	地域学校協働活動において、その核となる本市のコミュニティスクール協議会に「産業界」が入っていない点で、産業界（ある意味、特色）とは協働する意思がないと受け止める。	「学校関係・教育関係者で進めてください。」としか言い様がありません。（残念なことと思います。） （熟議が重ねられた結果なのでしょうから仕方ないです。） （特色を活かした効率良い進め方が可能と思われます。）	[redacted]
4	産官学連携（市）	フジミライテラスの活用	既存のプラットフォームであり、他市にはない取り組みを活かさない手はないと考える。企業と学校とのコラボレーションは今後更に進めていきたいところ。コーディネーターや学校管理職がフジミライテラスに参加し連携できる関係づくりが有効だと考えるため。	[redacted]
5	産官学連携（市）	庁内、特に首長部局との連携	CSの活性化のため。市内の団体、行政組織、事業者との連携を深めるためには首長部局の協力が不可欠。	[redacted]
6	産官学連携（大学）	近隣大学との連携	CSの活性化のため。すでに連携して取り組みを行っている大学もあるものの、CSの分野で取り組みを見直したり、まだ取り組みを行っていない大学との新たな連携を模索したい。	[redacted]

事前ワークシート　　富士見市の地域学校協働活動において、大切にしたいこと、外せないポイント、特に力を入れたいこと、富士見市の特色にしたいこと

分類：その他

No.	分類	大切にしたい・特に力を入れたい・特色にしたいこと	それを大切にしたい・力を入れたい・特色にしたい理由	氏名
1	その他	地域学校協働活動を円滑に推進するために必要となる各種の社会教育活動等を網羅したツールの整備。（例：生涯学習ガイド）	専門家ばかりでなく、いろいろな人たちが関わる可能性があるので、手助けになるものが必要である。	[redacted]
2	その他	次期学習指導要領改訂への対応	次期学習指導要領はCSを踏まえた内容となっているため。2030年から順次展開されることになるこの指導要領の内容を踏まえて、CSの内容を吟味するのが効率的。	[redacted]
3	その他	【外せないポイント】 児童生徒や保護者、学校関係者にとっての、安全・安心・信頼の基盤づくり（安全性を担保する参加プロセスの整備）	●学校は本来、安全で安心して過ごせる場であり、児童生徒が通い、保護者が託し、教職員が教育活動を行うための信頼が前提となっている。 ●地域学校協働活動に不適切な人物が関わったがために、児童生徒が傷つくことがあってはならず、保護者に不安を抱かせることも避けなければならない。 ●また、教職員が調整負担やトラブル対応で疲弊するような協働活動は本末転倒であり、「入口」管理や役割の明確化など、安全・安心・信頼を守る／高める仕組みづくりが不可欠である。	[redacted]
4	その他	障害のある人やLGBTQの人などマイノリティと呼ばれる人たちも含めた、できるだけ多様な人が関わる活動とする	地域や社会には多様な人がいる。多様な人たちへの理解を深め、分離・分断ではなく、共生が当たり前の地域や人になってほしいから。	[redacted]